

## 目標達成計画

作成日：平成27年 4月 10日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 (8)	ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めているが、ご利用者によってはこれまでの暮らしや思いを伝えづらい方もおられ、全ご利用者が馴染みの人との交流が継続できているとはいえない。	ご自分の思いや意思を伝えづらい方も、一人ひとりが馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、地域とのつながりがもてるような介護計画を作成し支援する。	今まで行ってきた支援を継続し、馴染みの関係継続に努める。新たな取り組みとして、ご家族と一緒に昼食を召し上がっていただく食事会を月一回設けて交流を図る機会とする。思いを伝えづらい方は、これまでの暮らしや思いを、ご家族や馴染みの方々等からの聞き取りや情報シートから拾い出し介護計画に反映させ支援する。	12ヶ月
2	24 (9-2)	記録用紙として、連絡ノート、業務日誌、ケース記録、情報シート等記録様式が多くあり、得た情報が集約できない傾向がある。	記録様式、項目を簡素化し、より効率的にご利用者の状況が把握、共有できる仕組みを作る。	記録様式について他のグループホームの記録様式を参考にしたり、職員間で検討し、使いやすい様式に変更することとした。具体的には既存の業務日誌とケース記録用紙を一枚の様式の中に組み込み、✓点などで記入する項目を設ける等効率良く記入、集約ができるようにする予定。連絡ノートは日々の申し送りや情報の共有が有効に活用できていることから既存のままとする。	6ヶ月
3	26 (10)	介護計画とモニタリングについて、担当職員はすべての職員から意見を聞いてモニタリングに反映させているが、職員全員での意見交換やカンファレンスの機会がない。	ご本人の意見と多くの職員の意見交換や、話し合いの機会を設け、介護計画の原案を作成する。	毎月定期的にケース検討会議を開催することとした。各ご利用者につき3ヶ月に一回ケース検討を行う予定で年間計画を立てた。ただし、全職員が参加することは業務上困難であるため、できるだけ多くの職員が参加し、話し合いの中で介護計画原案を作成、共有していくこととする。また、参加可能なご利用者は一緒に参加していただき、思いをお聞きし介護計画に反映する。	12ヶ月